

河川管理者からの提供資料

淀川水系流域委員会
第 21 回委員会(H15.5.16)
資料 3-3

ダム計画の見直し案説明資料 参考資料

- ・ 丹生ダム
- ・ 大戸川ダム
- ・ 余野川ダム

平成 15 年 5 月 16 日
近畿地方整備局

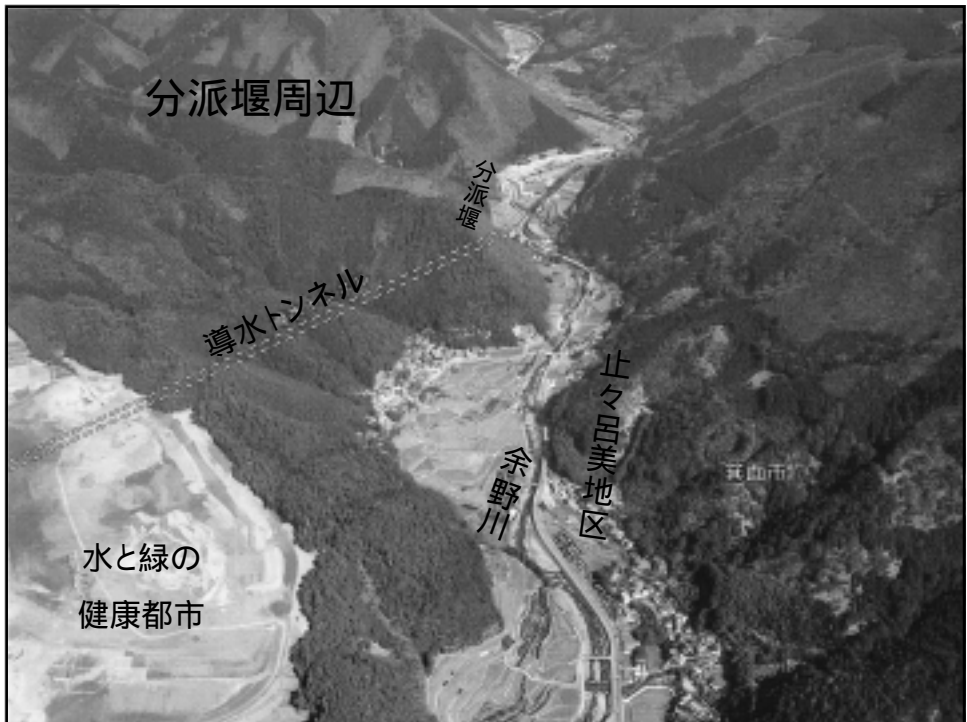
環境への影響

1 余野川ダム事業地の周辺状況

ダム建設地点

余野川ダムの建設が予定されている箕面市止々呂美地域は、古くから里山として、人と自然が共生してきた場所です。





周辺の開発

既成の開発

- ・宅 地 : 伏尾台、光風台、ときわ台、東ときわ台、大和団地、川西ニュータウン
- ・ゴルフ場: 伏尾ゴルフ倶楽部、能勢カントリー倶楽部
- ・道 路 : 第二名神高速道路、国道423号バイパス
- ・そ の 他 : 霊園2箇所、採石場、生コンクリート工場



調査結果(注目すべき種)

改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック・レッドリスト(環境省編)及び大阪府における保護上重要な野生生物 - 大阪府レッドデータブックに指定されている種(注目すべき種)は次のとおりです。

注目すべき種

- 哺乳類・・・ニホンリス、キツネ等 4種
- 鳥類・・・オオタカ、カワセミ等 10種
- 両生類・・・ニホンヒキガエル、モリアオガエル等 3種
- 爬虫類・・・アオダイショウ、イシガメ 2種
- 昆虫類・・・オオムラサキ、グンバイトンボ等 16種
- 魚類・・・タカハヤ、ドンコ等 4種
- 植物・・・エビネ、オオヒキヨモギ 2種

15

調査結果(参考写真)

オオタカ



注)オオタカは、本地域で撮影された写真ではありません。

オオムラサキ



モリアオガエル



16



オオタカ保全地

平成11年2月に宅地開発の事業区域内において、オオタカの営巣が確認されたため、大阪府は専門家による「水と緑の健康都市オオタカ調査委員会」を設置し、オオタカの保全方策について検討が行われ、オオタカ保全地として約55haが設定されました。





3 ダム建設による影響

環境に影響を与えると考えられる項目

余野川ダム及び分派堰の建設に伴い、事業地及び下流河川の環境に影響を与えると考えられる項目は以下のとおりです。

- ・水量
- ・水質
- ・土砂移動の連続性
- ・動植物
- ・景観





水量

水量への影響

- 洪水時及び平常時に余野川の水量の一部を貯水池へ分派導水することにより、分派堰下流の流量が減少します。
- 北山川及び北山川合流後の余野川は、ダムからの補給により、水量が変化します。

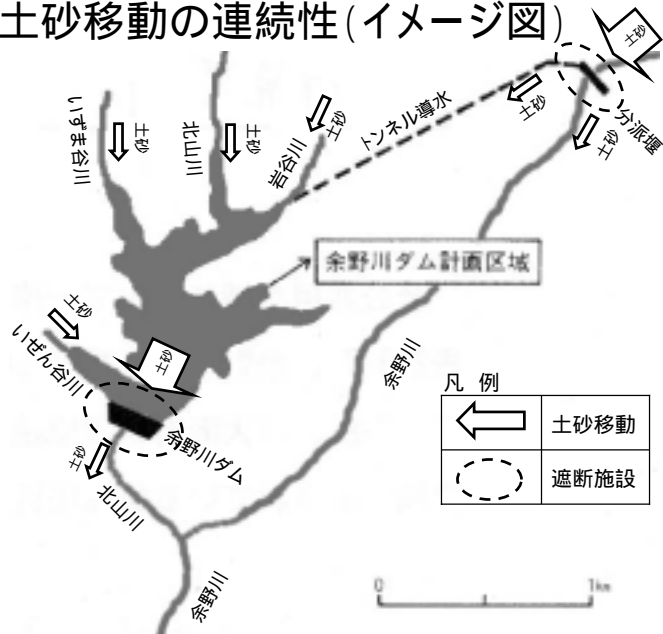


土砂移動の連続性

土砂移動の連続性への影響

ダム及び分派導水施設によって、土砂移動の連続性が遮断されます。

土砂移動の連続性(イメージ図)



動植物

動植物への影響

■事業区域への影響

貯水池及びダム、分派堰が出現することにより動植物の分断・孤立化、動物の移動阻害などの影響が生じます。

■下流河川への影響

ダム及び分派堰下流は、水量や水質の変化により、動植物の生息・生育環境が変化します。

